

1) 研究課題名

健康ナビゲータによる糖尿病型からの脱却・行動変容ステージの改善に関する研究

2) 研究目的と意義

世界の糖尿病人口は爆発的に増え続けています。厚生労働省の報告によると、日本でも糖尿病患者数の増加は著しく、糖尿病が原因の死亡数は1万3,783人と報告されていますが、実際には、糖尿病（高血糖）や高血圧が悪影響をもたらし、心疾患や脳血管疾患が進展するケースも多く、合併症をきたす前の対策が望まれます。

糖尿病の治療では、食事と運動を中心とした生活習慣の改善は基本です。しかし、早期の糖尿病は自覚症状が少ないため、通常の保健指導では、日頃の生活習慣を改め、健康的な生活スタイルを継続させることは困難なことが多いのも現実です。

そこで、今回、健診結果が糖尿病型（HbA1c 6.5%以上）を示した方に、現行の保健指導に加え、活動量計などのウェアラブルモニター等を貸与し、デイリー情報や過去の健診結果を見える化することによって、健康的な生活習慣を身につけることが可能になるか検討することを目的としています。

3) 対象者

研究対象者の選択基準

- トヨタ自動車株式会社従業員
- 直近の健康診断にてHbA1cが6.5%以上の方

除外基準

- 糖尿病、その他の疾患にて通院中で、主治医より運動療法等が禁止されている方
- その他、産業医が不適切と判断した方

4) 方法

1. トヨタ自動車従業員（本社勤務）において、直近の健康診断においてHbA1c6.5%以上であった方を社内健診データベースより抽出する。
2. この研究の同意が得られた後、専用の活動量計、体重計、血圧計を貸与する。
3. 活動量計、体重計、血圧計の記録は、インターネットを通じて自動的に回収され蓄積される。
4. 対象者の過去の健診結果と、食事内容・喫煙・運動量等の生活習慣に関する情報を回収しデータベースを作成する。

5. トヨタ自動車内診療所で行われる3ヶ月後、6ヶ月後のHbA1cの結果を収集する。
6. 参加者は毎日活動量計、体重計、血圧計を使用する。
7. 保健師（コールセンター）より、電話による生活指導を行い、行動変容ステージの調査を行う。

研究期間；実施承認日～2019年6月30日

研究の成果は、提供者本人やその家族の氏名などが明らかにならないようにした上で、学会や学術雑誌及びデータベース上で公に発表されることがあります。

いただいた情報について、将来の研究への同意がいただける方については、現時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性があります。

研究責任者：名古屋大学医学部腎臓内科 教授 丸山 彰一

○問い合わせ先

名古屋大学医学部腎臓内科

TEL：052-744-2192 FAX：052-744-2209

○苦情の受付先

名古屋大学医学部経営企画課：(052-744-2479)